2025年4月2日

各　位

会 社 名　株式会社INFORICH
代表者名　代表取締役社長兼執行役員CEO　秋山 広宣
（東証グロース市場、コード：9338）
問合せ先　執行役員CFO　渡邉 雄介
メール：ir@inforichjapan.com

投資家の皆さまからのご質問と当社見解（2025年3月）

日頃より当社へのご関心をいただきありがとうございます。

本開示は、投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、投資家様から頂戴した主なご質問とその回答について、毎月行っているものです。回答内容については、時期のずれによって齟齬が生じる可能性があります。

※本開示には、4月2日時点での情報を記載しております。

Q.1　取締役の報酬について、代表取締役以外に保有株がないのは何故か。報酬として与えるだけではなく、リスクを取らせるためにも保有させるべきではないか。（株主総会でのご質問）

ご意見ありがとうございます。検討してまいります。

なお、社内取締役2名につきましても、上場時にストック・オプションとして株式の付与は受けております。しかしながら、現時点ではまだ行使できる基準に達しておりません。

第10回株主総会でご承認いただいた報酬案は、業績指標の達成状況によって付与条件が変わるものになっております。その意味では、取締役がリスクも負う形式の報酬案であると言えると考えています。

報酬制度の詳細については、以下の開示をご確認ください。

（ https://ssl4.eir-parts.net/doc/9338/tdnet/2586776/00.pdf ）

Q.2　2025年4月1日からの役員人事の意図はどのようなものか。なぜ代表取締役の肩書が変わるのか。

これまでINFORICHは中国、香港、オーストラリアに加えてフランチャイズなど世界8エリアで展開を行ってきました。加えて、直近では2024年10月のイギリス現地法人の設立、2025年2月の台湾フランチャイズの子会社化といったグローバル展開が着実に進行しており、海外事業の比率がさらに高まっていく見込みです。

今後、国境を越えた多拠点、多領域での意思決定が求められるなか、グループ全体で最適、かつ迅速な判断ができる経営体制への進化が急務と考えられます。このような状況をふまえ、グローバル規模での事業拡大と経営最適化を両立させるため、このたび経営体制の変更を決定いたしました。

海外事業の比率が上がっていくことが想定される中で、海外を含めたグループ全体の事業運営に代表取締役がリソースを割くことができる体制に変更いたします。代表取締役の秋山はGroup CEOとしてグループ全体を統括しますが、日本での事業は今までCFOを担っていた橋本に権限委譲し、橋本がJapan CEOとして担当いたします。

役員人事の詳細については、以下の開示をご確認ください。

（ https://ssl4.eir-parts.net/doc/9338/tdnet/2586770/00.pdf ）

Q.3　EBITDAを最重要指標とする理由は何か。

当社はフリー・キャッシュフローの最大化を中長期的な目標においております。

EBITDAは減価償却費などの現金の支出がない費用を引く前の利益指標であり、よりキャッシュフローベースに近い指標であり、当社の状況をご説明する上でよりふさわしいと考えています。

INFORICHはバッテリースタンド・バッテリーを所有していることから設備投資が多く、減価償却費用も大きくなるという特徴があります。また、2024年には3件のM&Aを行っていることから、のれん償却費や無形資産の減価償却費も発生しています。日本の会計基準ではM&Aにともなうのれんも定額償却されるため、その影響を排したほうがよりキャシュフローに近い数値になります。

Q.4　イタリアでの競合状況は。

イタリア国内には数社の競合がモバイルバッテリーのシェアリングサービスを運営していますが、全企業合わせても約1,500台にとどまっています。まだモバイルバッテリーのシェアリングサービスの市場自体が発展しておらず、生活に根付く前の状態であると言えます。

今後THUN社と協働で設置台数を増加させることで、高い市場シェアを獲得するとともに、「モバイルバッテリーを借りる」ことを当たり前の生活習慣にすることに取り組んでまいります。

なお、THUN社とは2025年2月27日に開示した通り、業務提携契約を締結し、設置に向けた準備を開始いたします。（ https://ssl4.eir-parts.net/doc/9338/tdnet/2574189/00.pdf ）

Q.5　大手鉄道での設置の状況はどうか。

個別の営業状況についてはお答えしかねますが、都内のハブ駅への設置を随時行っております。

- 池袋駅
  https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000345.000033521.html
- 新宿駅
  https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000353.000033521.html
- 目黒駅（券売機）
  https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000314.000033521.html
- 目黒駅（通常バッテリースタンド）
  https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000314.000033521.html

今後も引き続き各地のハブ駅への設置を推進してまいります。

Q.6　月次でのKPI開示は行わないのか。

現時点では考えておりません。

バッテリーのレンタル数は天気や気温、感染症の流行状況、イベントの実施状況などの様々な要素によって変動します。一時的に雨が続くなどが発生した場合、短期的に四半期ごとに設定しているKPIの目標数に対して低くなることもあります。

そのため、現時点では3ヶ月の平均（四半期平均）でお示しすることで、一時的な外部環境の影響を排した状況をご説明ができると考えております。

Q.7　第1四半期決算の決算のスケジュールについて。

■ 決算発表：5月14日（水）15:30（予定）

■ 機関投資家・アナリスト向け説明会：5月14日（水）18:00〜19:00（予定）

・説明会の参加受付は開始前です。開始次第、ご連絡いたします。

■ 個人投資家向け説明会：実施予定・詳細未定

以　上